



Q

## 鶴ヶ島市の 防災・減災は

もちだ としあき  
持田 敏明 議員



A

## 熊谷地方気象台と情報共有し、 地域防災計画に基づいて対応

本市は、大きな河川や山がなく、災害の少ない住みやすい街であるが、近年の災害は、想定外の要因によって被害が大きくなっている。鶴ヶ島市地域防災計画の局地豪雨に対する位置付けは。

**問** 地域防災計画の風水害等応急対策計画の中で水防項目を定め、動員配備体制を整えることとなっている。また、熊谷地方気象台と連絡を密にし、情報共有している。

**答** 大雨注意報及び大雨警報の過去3年間の本市の状況は。

**問** 大雨注意報は平成27年中に94回、28年中に29回、29年中に27回、大雨警報は27年中に2回、28年中に3回、29年中に4回である。

**問** 本市の飯盛川と大谷川の防災に関する計画の現状は。

**答** 場所によって管理者区分が分

かれている。地域防災計画では、坂戸、鶴ヶ島下水道組合が雨水幹線の計画的な整備や適切な管理を行い、本市が水路や排水路部分の適切な改修や維持管理を行うこととしている。

**問** 局地的な豪雨に対する教育機関の対応について。

**答** 局地的集中豪雨が予想されるときには、気象情報を的確に把握し、児童・生徒の安全確保を最優先した措置をとる。

A

## 市の最重要課題としての「交通安全」

はせがわ きよし  
長谷川 清 議員



## 交通安全は市の成長につながる

**問** 交通安全を市の最重要課題にした意味は。

**答** 交通死亡事故は、地域社会を揺るがす災害の一つである。この災害から財産である市民を守ることは、市民の健康や福祉が保たれ、産業が発展し、市の成長につながる。ことから、最重要課題にした。

**問** 最重要課題に対する市長のポリシーは。

**答** 交通安全を進めることは、健全な子育てや家庭が生まれ、教育が成り立ち、市民の健康や福祉の向上にもつながる。また、交通安全に配慮した都市整備が進み、交通安全に支えられた産業が発展す



る。更に、交通安全を保つことにより、市の財政が確保され、市の発展を望むことができる。この大きな枠組みをまとめていくことが行政の大きな役割であり、最重要課題だと考えている。交通安全をいい加減な政策とは考えていない。市民は市の大きな財産であり、市民の交通死亡事故ゼロを目指すことは、本市の発展のための礎であり、今後も変わらず安心・安全な市政を運営していきたいと考えている。

**問** 本市には、ほかに重要課題が山積していると考えられるか。

**答** 「安定」した市政の運営が最も重要であると考えている。